

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	2 人	10 人	人	人	12 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none">慣れられるまでは、声掛けを多くして、他御利用者との間に入って会話ができるようにしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none">不安なく、過ごして頂けるように、職員が間に入って、御利用者同士が会話でき、安心できる場となるように心掛けた。御利用者に、丁寧にわかりやすく話かけ、気持ちを組み取りながら会話することができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	1	10	1		12
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	2		12
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?		11	1		12
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?		10	2		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">定例会で話し合ったり、ミーティング帳で御利用者の情報を全職員で、共有することができた。御家族の要望や悩み等は、全職員が把握に努め、その時々で臨機応変に対応できるように、連携を図った。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">日々、送迎時や訪問時に御家族とお会いする機会があまりなく、御家族との関係づくりができていない。ミーティングで、情報共有していても、日々の記録を見過ごしていることがあり、支援内容が変わったことに対する確認ができていないことがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">利用される利用者情報、御利用者や御家族・介護者の状況を把握し、どのような支援が必要なのかを全職員が理解し、対応していく。在宅で生活を送るなかで、御利用者や御家族・介護者の不安を受け止め、支援を行っていく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	9 人	2 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・本人の思いを理解し、目標に近づけるよう、日々かかわりを持っていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・御利用者との会話や行動を把握していくなかで、「～したい」という思いを職員が組み取り、再確認ができた。 ・一人ひとりの目標を全職員が理解していないことがあり、確認しながら支援した。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		5	6	1	12
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?		7	4	1	12
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		5	6	1	12
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	1	5	5	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・日々の会話の中で「～したい」「～が好き」等、思いを聞くことに努めた。 ・会話をしていく中で、昔されていたことを聞くと、得意そうに話をされ、自信がある話し方をされる等、御利用者の若かった頃の姿を知ることができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・「～したい」という気持ちになるような声掛けや関わり方ができなかった。 ・全職員に声かけが十分でなく、計画書の回覧ができていない。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・全職員が、いつでも計画書を閲覧できるようにし、御利用者の目標に向かって支援を行っていく。 ・御利用者がどうしたいのかわかるような目標にし、それに沿って実行した記録をする。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画	・生活環境の理解を深めるために、御本人の暮らしの思いを聞く時間を業務の中で作る。
前回の改善計画に対する取組み結果	・御利用者に暮らしの思いを聞き、少しずつ理解することができた。 ・会話の中から情報収集ができるように、声掛けに心掛けたが、声にならない声を言語化することができなかった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?		1	8	2	12
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	11			12
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?		7	5		12
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	1	10	1		12
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		11	1		12

できている点	200字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・体調の変化については、「いつもとなんだか違う」という表情や状態の変化に気づき、それを見逃さず、早期対応することができた。 ・その都度、本人の身体状況や気持ちに合わせた介助方法を行うことができた。
--------	---

できていない点	200字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・利用者のなかには、以前の暮らし方を10個以上の情報を把握できておらず、御利用者が自分らしい暮らしをしていかれるための支援にならなかった。
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内) ・御利用者が自分らしい暮らしをしておられた頃の、「以前の暮らし方」が把握できるよう、全職員で情報シートを作成していく。 ・日々の変化に気づき、関わりや支援内容について記録し、全職員で共有する。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	5 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・御利用者の情報共有に、地域資源やエコマップを取り入れる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の資源は把握できているが、事業所での支援が中心になってしまった。 ・近隣の方に会うと声をかけ合うことで交流を深めることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		6	5	1	12
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?		4	6	2	12
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		3	7	2	12
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		4	6	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること ・地域の資源の把握や近隣の方に挨拶をしてコミュニケーションをとるように努め、御利用者、御家族が地域と関係が切れないように支援ができた。
--------	--

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること ・現在の御利用者の中には、地域資源の活用について、参加や興味を感じておられない方が多く、地域への関わりがなかなか持てなかった。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内) ・地域での暮らしは、事業所だけでは支えることはできないので、全職員が御利用者を取り巻く近隣や友人、民生児童委員等、地域の資源を把握していく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆ 前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	4 人	7 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・ 御利用者一人ひとりの状況に応じて、地域での暮らしに必要な資源がないか検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 地域の資源が必要な方は、民生児童委員や包括支援センターに相談しながら安定した生活が送れるよう計画し、支援を行ったが、事業所だけでは難しい事例があった。

◆ 今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		3	6	3	12
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	4	6	2		12
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	3	8	1		12
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	3	6	3		12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
	・ 御利用者の状態や変化に対応ができるよう全職員が情報を共有し、支援することができた。 ・ 御利用者のそれぞれの状態に対応し、サービスの提供ができた。

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
	・ 支援内容に困った御利用者に対して、役場や社協に支援の相談をしてアドバイスを頂いたが、うまく支援に繋がらなかった。地域資源にも限界があり、自分たちの事業所のみで、支援せざる負えない場合があった。

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
	・ 役場や社協にアドバイスを頂きながら、柔軟に支援が行えるように地域の資源に繋げていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

6. 連携・協働

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	5 人	6 人	1 人	12 人

前回の改善計画	・コロナ禍ではあるが、自治会との関わり、イベント等に参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域の防災訓練や町内の作品展に出展し、見学に出かけることができた。また、町内の施設と共同のイベントに参加し、交流できた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よくできている	なんとかできている	あまりできていない	ほとんどできていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?		4	3	5	12
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		6	1	5	12
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	5	2	3	12
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		2	3	7	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・カンファレンスや担当者会議等、サービス機関と連携をはかることができ、会議や研修はオンラインで参加できた。 ・地域の防災訓練に、参加し、自治会と協働の訓練が行えた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で自治会の活動やイベントの中止が多く、参加する機会が少なかった。 ・地域住民等、ボランティアの受け入れが難しく、イベント等交流する機会がなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・コロナ禍でも出来ることを探し、各自治会や地域との関わりが切れないように情報収集し、全職員が連携をとっていく。 ・オンラインを活用して、会議に参加していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

7. 運営

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	2 人	3 人	5 人	2 人	12 人

前回の改善計画	・コロナ禍ではあるが、地域と協働した取組みについての情報収集を行い、参加していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・運営推進会議の中で、運営推進員と情報交換や情報収集をし、運営に生かすことができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	2	3	5	2	12
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	7	2	2	12
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	1	4	5	2	12
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?	2	2	6	2	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・運営推進会議の中で、地域の行事や必要な内容を検討し、今後に生かせるよう一緒に話し合うことができた。 ・職員同士の話し合いをし、意見交換ができた。 ・御家族からの意見を聞き、内容を職員間で話し合い、解決に努めた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・コロナ禍で、地域との協働した取組みができていない。 ・事業所のあり方について、職員一人ひとりが意見を言える環境が整っていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・運営推進会議の内容を全職員に伝えて共有していく。 ・定例会で、全職員が意見や思いを話し合い解決できる場となり、よりよい環境づくりに向けた話し合いができる機会をつくる。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17:15~18:30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1 人	11 人	人	人	12 人

前回の改善計画	・引き続き、自分だけでなく他の職員と情報を共有することで、業務の改善につなげていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・定例会で情報交換し、意見を出し合っ業務改善につなげることができた。 ・職場内研修を重ね、知識や技術を得て、日頃の介護現場に生かせることができた。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	9			12
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	1	7	2	2	12
③	地域連絡会に参加していますか		6	2	4	12
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	1	8	2	1	12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・職場研修は、全職員が積極的に参加できている。 ・ヒヤリハットをあげることで、同じミスを繰り返さないためにも、全職員で解決策を考え実行できた。 ・定期的にマニュアル検討会や研修会を開き、知識・技術の向上、また、振り返りをし、再認識できる機会がもてた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・地域連絡会への参加ができていない。 ・オンラインでの参加が主であり、他施設の方と交流ができておらず、情報交換する機会が少なかった。 ・ヒヤリハットの解決策を考え取り組んだが、同じミスをすることがあった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・質を向上するための取り組みとして、研修に参加した内容を全職員に伝達し、情報を共有する。 ・ヒヤリハットの記録を残し、再発防止に取り組むようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 4 年 12 月 22 日 (17 : 15～18 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 穂山、西村、山崎、山根、近藤、絹見、佐藤、松本、濱本、淀瀬、繁原、脇坂

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	6 人	1 人	人	12 人

前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み結果
<ul style="list-style-type: none">・継続して、身体拘束・虐待防止の研修をする。・成年後見制度について研修を実施して、制度について理解を深める。	<ul style="list-style-type: none">・身体拘束・虐待防止の研修に参加し、意識して接した。・定例会で、成年後見制度について資料を使って研修しているが、実際に使っている方がいないため、知識が浅いままだった。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	2			12
②	虐待は行われていない	10	2			12
③	プライバシーが守られている	6	6			12
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	3	7	12
⑤	適正な個人情報の管理ができている	3	9			12

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・身体拘束、虐待防止、研修を行ない、全職員が意識し取り組んでいる。・個々のプライバシーを守り、言葉に気をつけ、人権尊重しながら業務ができている。・御家族と身体拘束について話し合う機会が持てた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・成年後見制度は、必要と思われる方がおられたが、本人の同意を得ることができず、活用できなかった。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・思わぬ行為や言葉が虐待につながる可能性があり、言葉の意味を考え、御利用者とコミュニケーションを図り、予防に努める。・身体拘束や虐待について、御家族・介護者話し合いの機会を持ち、相談や情報提供を行っていく。	

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表（令和4年度）

法人名	社会福祉法人 北栄町社会福祉協議会	代表者	大西孝弘	法人・ 事業所 の特徴	利用者の一人一人の能力を最大限に活かせるように、日々利用者の方とコミュニケーションをとり、職員とのミーティングで情報を共有しながら支援している。ひとつの家族だと考え、利用者と職員が互いに助け合うことで、思いやりの心が芽生え落ち着いた場所になってきている。「地域の利用者の方を地域の人で」を基本に支援している。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 「なごみの郷」	管理者	脇坂啓子		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	3人	2人	人	1人	人	人	3人	人	10人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・自己評価により、出来ていない部分と出来ている部分が明確になった。出来ていない部分に関しては、話し合い検討していく。	・出来ている部分は、継続していき、全職員が連携、協力し、よい支援ができるように取り組んだ。	・自己評価は、年度終わりにしても、異動等で職員が変更となるため、年度初めに目標や取組む内容を確認していくようにしたらどうか。よりよい運営になると思う。	・年度初めに定例会で目標や取組む内容について再確認する機会を作る。
B. 事業所のしつらえ・環境	・花壇の花植えや水やり、季節の飾りなど事業所内外の環境づくりに取り組んでいく。	・季節の飾りを取り入れた創作活動が行えた。	・看板を作って頂いてよく見えてよい。施設内に季節の飾りがあって感心します。手先を使う作業はよいと思うので、今後も続けてほしい。玄関の前の風が強いのはどうにかありませんか。	・外のプランターに利用者と一緒に花植えや水やりをする。 ・玄関の風が強いので、乗降時は2人体制で移動、移乗を行なう。
C. 事業所と地域のかかわり	・感染の状況と予防に努めながらいきいきサロン等、地域交流に利用者と一緒に参加する。	・いきいきサロン等には参加したが、コロナ禍のため、積極的な地域交流が出来なかった。	・地域の方に知られていますか？に対して、地域、子どもたちとの交流がほぼできていなくて、アピールできない。工夫をすることが必要である。なごみ新聞を自治会の掲示板に貼って頂いたり、なごみ新聞に職員の紹介を掲載すれば、より近い存在と感じられるのではないかと。	・社協に提出する書類などを地域の方が本所まで持参されなくても、なごみの郷が窓口代行をして地域の方に施設を知ってもらう機会とする。 ・地域のクリーン活動等の行事に参加する。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・利用者が今まで利用していた地域の資源とのつながりを切れないように支援していく。	・多機能を活かした事業所の支援がかえって地域の資源活用を途切れさせてしまった。	・社会福祉協議会の理念である地域福祉活動は、心配な方の見守り活動も含まれている。小多機は、地域の方々との接する機会が多く、相談窓口等の機能も担っている。いろいろな場所で積極的にPRされてはどうか。	・自主運営されている地域のいきいきサロンに出向いてパンフレットを配布し、事業所の紹介をする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・運営推進会議の地域の関わりをとおして、地域の困りごと、心配な方があれば、話し合いを行う。	・全般的に運営推進会議を书面開催としたこともあり、情報や意見を聞くことが少なかった。	・特になし。	・運営推進会議を通して、事業所の活動等を報告し、助言や意見を頂く。頂いた助言、意見をもとにより良いサービス提供に繋げていく。

<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・災害発生に備え、消防避難訓練を行う。地域との連携を大切にする。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の方と情報を共有し、地域の防災訓練に利用者と参加することができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・年度初めの運営推進会議で防災計画をみせて頂き、良かった。また、内容を確認し、安心した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・江北自治会の防災訓練に地域の方がどう避難されるか、一緒に支援させてもらう。 ・独居の方の各自治会の防災訓練と一緒に同行し、支援のポイント等を地域の方にお伝えする。
----------------------------	--	--	--	---